

審査の結果の要旨

氏名 河岡 辰弥

出芽酵母のオートファゴソーム (AP) 形成過程において、AP 形成の中間構造体であるオートファジー関連構造体 (ARS) は、形態的に分離されていなかった。

本論文は2章からなり、第1章では、ARS の形態表現型解析の手法を開発し、その手法を使用して、初期段階の ARS である足場複合体の形成過程を解明した。

第2章では、ARS の形態解析により AP を同定し、足場複合体が AP から切り離されるタイミング、および AP が新生されたのち膨張するというモデルを提示した。

本論文第1章前半に記載された形態表現型解析の手法については既に査読付き論文として発表済みである。また、第1章後半の足場複合体の形態解析については、浙江大学の共同研究先と共同で論文を執筆中である。第2章については、本審査終了後、速やかに投稿論文を作成する予定であり、博士課程に行った研究は全て発表できる見込みとなっている。

よって本論文は博士（生命科学）の学位請求論文として合格と認められる。

以上416字